



ぽっかぽか



保育室の中央扉が解放されてから1カ月。子ども達もこの環境に慣れてきました。

今まであった扉の所にある「緑色の線」から出てしまうと、あわてて戻ったり、線の外へ転がっていった玩具を取りに行っても良いか大人に聞いてくるなど、遊びのスペースを意識して遊ぶ姿も見られます。

こんな姿に日々の成長を感じています(*^^*)



～元気いっぱい外遊び～

屋上園庭や長久保公園で遊ぶ機会が増えてきました。

落ち葉を踏んでカサカサ音を鳴らしてみたり、金木犀のお花を拾い集めてククンして「いいにおい♪」と笑顔になったり、椿の種をペットボトルに入れて遊んだり、五感を使って秋の自然を楽しんでいます。

虫や鳥などにも興味があり、探して見つけると友達に「ダンゴムシいたよ」「あそこ、飛んでる」など教えて、一緒に見て触って喜び合う姿も見られます。

うさぎ組さんがしている遊びにも興味津々。箱の上ってジャンプ（しているつもりでゆっくり降りていることも…）、後について白線の上をくねくね歩いてみたり、砂をシャベルですくって容器に入れて逆さにして型取りをしてみたり、色々やってみて上手にいたり、いかなかったりしながら遊びを真似しています。

視野が広がっていることがよく分かりまどんなことも、友達と一緒に楽しもうとするりす組さん。個々の遊びから2・3人の小集団へと変化している様子が見られて成長を感じます。



～りす組もあと！～5ヶ月

お散歩ロープに3、4人でつかまり、「次はきんもくせい駅」「次は鉄棒駅」など電車ごっこをしながらテラスや長久保公園を歩き、お散歩に向けての練習も始まっています。

お友達と歩く速度を合わせたり、グリップを最後まで握っていることも初めてのことですが、うさぎ組さんがお散歩に行く姿を見ているので、真似っこ遊びのように楽しめているようです。歩行が安定し、手を離さないことや道路の白線の内側を歩くこと、前の子を抜かさずに歩くことなどお約束を理解できた子から順次、お散歩へ行けるように考えています。



進級に向けての活動は、他にも始まっています。

着替えの時、食事をする時、トイレへ行く時、寝る時など、今は何をやる時なのかをその都度、意識できるように伝えていきます。

「今は座っているんだよね」「いただきますしたよ。食べてもいい？」「お布団かけて」など今は何をしたいのか、何をやる時なのか大人に確認する姿も見られます。また、「次、トイレね」「手、洗うんだよね」と次の行動を考えて動いている子もいます。

着替えの時は、ティシャツの裾や袖がどこの事なのか伝えながら援助することで、「裾もって頭に被せてね」「袖を引っ張って脱いでみてね」など声を掛けるだけで、自分で衣服の着脱を進めていける子も増えていきます。

りす組は16名、うさぎ組になると20名のクラス編成になります。今だからこそ、ゆっくりじっくりと子どもたちと関わり、意欲的な姿をたくさんほめて、その意欲がほかの事にも繋がっていくように見ていきたいと思えます。

